



昼飯大塚古墳 ミニデータ

4世紀末、古墳時代中期(約1600年前)に築かれた、岐阜県最大の前方後円墳。
・周濠を含む総全長／約180m
・面積／12,641.71㎡
・墳丘長／約150m
・前方部／高さ9.5m
・後円部／直径99m、高さ13m
・国史跡の指定／平成12年9月6日

第1回市議会 定例会が開会

新年度予算など 46議案を審議

第1回市議会定例会が3月4日、開会されました。

この日、会期を3月21日までの18日間と決めた後、「大垣市功労章を授与することについて」と人事案件2議案を先議。10人の方に市功労章を贈ることを決め(2面で紹介)、大垣地域公平委員会委員に矢橋修太郎さん(再任)を選任、人権擁護委員候補者に野村義博さん(新任)、服部茂子さん(新任)を推薦することに同意しました。

続いて、平成25年度一般会計予算など43議案を一括上程。小川市長が市政運営に対する所信を述べたほか、予算編成の基本方針や、上程された各議案の提案理由を説明しました。

各議案は、最終日の21日に本会議で採決される予定です。上程された議案は次のとおり。

▷平成25年度予算関係

一般会計、公共下水道事業会計、病院事業会計など20件

▷平成24年度補正予算関係

一般会計、公共下水道事業会計、水道事業会計など4件

▷条例関係・その他

新型インフルエンザ等対策本部条例の制定、職員退職手当条例等の一部改正、市民会館条例の一部改正、国民健康保険条例の一部改正など19件

昼飯大塚古墳歴史公園 まもなく完成

平成5年度に調査研究を開始し、平成21年度から4年にわたり保存整備を進めてきた国史跡「昼飯大塚古墳」。4月から、歴史公園として生まれ変わります。

高さ13mにおよぶ三段築成の墳丘を整備するほか、古墳後円部の一部に埴輪や葺石を並べ「復元ゾーン」として築造当時の姿を再現しました。4階建てビル相当の高さとなる墳丘頂上からは、伊吹山や関ヶ原、濃尾平野を一望できます。

遠い昔、この地を治めた王が見た景色を想像し、古代ロマンに思いをはせてみませんか。ぜひ、現地へお出かけください。

詳しくは、文化振興課(内線786・787)でお尋ねください。

完成記念式典

4月6日(土) 午後1時～

古墳儀礼再現アトラクション、出土品の展示、青墓太鼓踊りなど

全国で5例目の事例 歴史民俗資料館で特別公開中

昼飯町地内にある東町田遺跡から、弥生時代末から古墳時代初頭(約1700～1800年前)に作られたとみられる絵画土器が出土しました＝写真＝。

土器の大きさは、器高約25cm、口径約14cm、胴部最大径約24cmで、壺口縁部内面に人物の絵画、胴部上半に高床建物2棟・辟邪視文(魔よけの人面文様)・鹿2匹・犬の7つの図柄が線刻によって描かれています。



東町田遺跡から絵画土器

ひとつの土器に複数の図柄が描かれた例は少なく、ほぼ全てが明らかなものとなると全国で5例目。専門家からも「一級の資料である」とコメントをいただきました。

市教育委員会は、この絵画土器を3月2日から歴史民俗資料館で特別公開しています。また、3月24日(日)の午後1時30分からサイトピアセンターで開催の埋蔵文化財発掘調査報告会(申込不要・入場無料)においても報告を行います。

詳しくは、文化振興課(内線786・787)でお尋ねください。

国に代わって地方自治体が一時的に借金をする臨時財政対策債が、本市では平成23年度末現在で、約190億円あります。この借金を返済するときは、国が全額負担することになっていますので、これを借金としなければ、一般会計の借金残高は350億円となり、一般会計予算550億円と比較すれば、立派な健全財政となります。今後大垣駅南街区再開発、新庁舎建設を進めながら、住民サービスナンバーワンを目指してまいります。

民間住宅の耐震化にも力を入れています。こういったナンバーワンの住民サービスを推進できるのも、本市が県下で一番財政力の強い市だからです。人口16万人の都市ながら、強い財政力を持つ根幹は、産業都市として時代の変遷に合わせ発展してきたことが背景にあります。

木造住宅の耐震化も診断は無料で、工事費も300万円の70%(210万円)まで補助するのは県下で、小中学校だけでなく民間住宅の耐震化にも力を入れています。子育て支援事業も充実しています。木造住宅の耐震化も診断は無料で、工事費も300万円の70%(210万円)まで補助するのは県下で、小中学校だけでなく民間住宅の耐震化にも力を入れています。

私は、日本一住みやすいまちづくりを進めております。本市の住民サービスの中心は、ナンバーワンに生かすところとあります。医療福祉は、高校生まで医療費無料化、67歳以上の自己負担1割(垣老)は、全国でもトップクラスです。本市としては、今後も何らかの形でこの「垣老」制度を維持していきたいと考えています。

また、子育て日本一を目指し、延長・休日・乳児、病後児から病児までの各種保育サービスを実施しています。地域により異なりますが、本市は、保育園・幼稚園・幼保園の園児の受け入れに余力があり、待機児童はありません。また、子育て総合支援センターを拠点に、ファミリーサポート、エンゼルサポーター、ホームスタートなどの子育て支援事業も充実しています。



大垣市長 小川 敏